

工農北 新年交礼会を開催 北海道の優れた農機を発信

一般社団法人北海道農業機械工業会(青柳稔会長)は、1月27日午後、札幌市内の札幌全日空ホテルにおいて、毎年恒例の「農業機械界新年交礼会」と「新春特別講演会」を開催した。「農業機械界新年交礼会」で挨拶を行った青柳会長は、「北海道、日本の農業に対する安全・安心の期待は、国内はもとより海外でも高まるばかりである。北海道の優れた農業機械を、これからも発信し続けていく」などと力強く述べ、今年の飛躍を誓った。

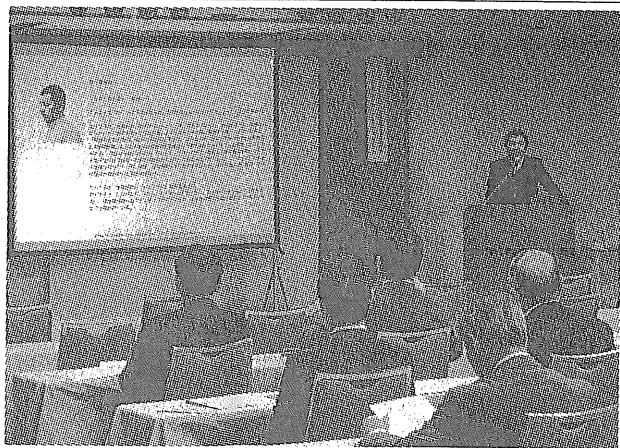
同ホテル24階の白楊の間で開催された「新春特別講演会」では、(株)フアと農業の今後を演題にシオネ代表取締役の登壇して講演を行った。



挨拶する青柳会長

登壇した「デザインを本質」を「想いを伝えるさまざまな表現」とし、「ブランド」とは、「会社の想いや強みが視覚化され、表現でき、さらにはユーザーが製品を使うためのさまざまな気遣い」と説明するなど、「農業機械」に留まらない幅広い話題に関して話したこと、好評であった。

「デザインを本質」で開かれた「農業機械界新年交礼会(主催)北海道、北海道農業機械協同組合、十勝農業機械協同組合」の冒頭、主催者として挨拶に立った青柳会長は、まず初めに、昨年開催された「第33回国際農業機械展in帯広」や北海道新幹線をはじめ、経済情勢、社会情勢などに触れた後、「空の便と新幹線により北海道と本州の結びつきがさ



デザインを中心に幅広い内容が話された新春特別講演会

らに強固なものとなり、北海道、日本の農業の安全・安心に対する期待は、国内はもとより海外からも高まるばかりである。ロボットトラクタや人の動きを手助けするツールなど、国際農業機械展において公開された様々な技術が、4、5年と言わ

ず、すぐに現実のものにならんとしている。北海道の優れた農業機械に関しては、アジアやE.C諸国にこれからも発信し続けていくなどと述べ、今後に意欲を示した。続いて、来賓として、経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長の鳥

田雄二氏が「ロボット新戦略が決定され、自動走行トラクタの2020年現場導入といったことが政府の計画となったので、導入支援を行ってほしい。すでに世界のブランドとなっている北海道の食を、皆さんに支えていただきたい」などと挨拶。

また、道経済部産業振興局産業振興課長の中井英雄氏が「農業機械は北海道の基幹産業であり、農業の競争力強化、高付加価値化、ブランド化を進展させるために重要であり、果たすべき役割はますます高まっている」などとそれぞれ挨拶した。その後、同上業会の山田政功副会長の乾杯により懇親に移り、道農機商組の杉山宏一副会長が閉会の挨拶を行った。

北農工

未来見据え決意新た

札幌で新年交礼会を開催

平成27年北海道農業機械工業会新年交礼会が1月27日、札幌市の札幌全日空ホテルで開催した。青柳会長は、主催者挨拶で厳しかった昨年を振



青柳会長

り返りつつ、農業機械分野でロボット技術が現実のものになりつつあることを紹介。「昨年行われた第33回国際農業機械展in帯広では、ICTを活用した営農システムやロボットトラクタなどが登場し、前回の展示会と比較しますと隔世の感を察じえます。昨年より生産年齢人口の減少や人手

不足を受けて、介護や福祉、そして農業などロボット化の期待が高まる分野の開発・普及への具体策の検討がなされました。ロボットトラクタや人の動きを手助けするツールなど、農業機械展で公開された技術が現実のものとなるうとしています。会員企業様と大学や関係機関とスムーズな連

携、風通しの良い関係を支えてまいりますので、変わらぬご支援ご指導を賜りたくお願いいたします」と述べた。来賓からは島田雄二経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長、中井英雄北海道経済部産業振興局産業振興課長が挨拶し、青柳会長が述べたロボット技術の活用をほじ

め、北海道農業の競争力を支えるべく支援を行っていくと述べた。

懇親会では山田政功会長の乾杯の音頭ではじまり、閉会の挨拶では北海道農業商業協同組合の杉山宏一副会長が会員一堂と共に更なる飛躍を誓い合った。また、新春特別講演会では、レーシングカーデザイナーや6次化商品のブランディングなど、各方面で活躍している登豊茂男(株)ファシオネ代表取締役)氏による「デザインを活用した次世代農業機械と農業の今後」の演題で行われた。